

新野菜“あすっこ”の生産振興

～「あすっこ」の輪を広げよう～

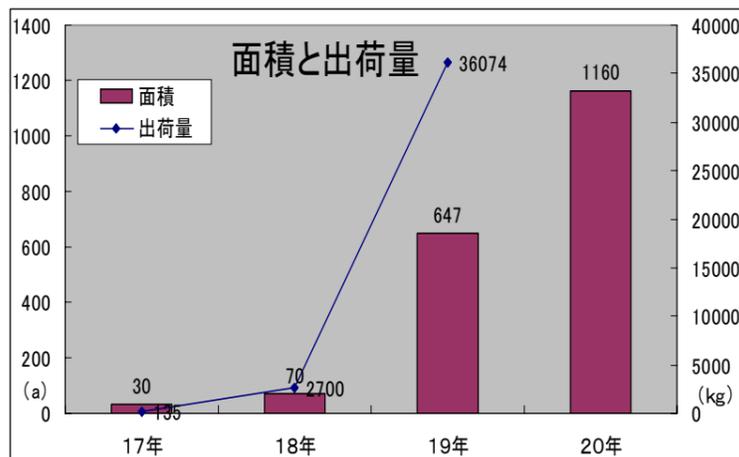
平成15年に本県試験場で育成された“あすっこ”は農タプランの「売れる野菜プロジェクト」に取り上げられています。しかし、生理生態や栽培管理面で不明な点が多く、課題解決が急務でした。

そこで、技術普及部では、検討会を通じて栽培技術確立に向けた取り組みとともに、産地の拡大に向け出雲地域から全県への普及、20年からは品質向上のため、GAPの推進に取り組んでいます。

役割分担の明確化

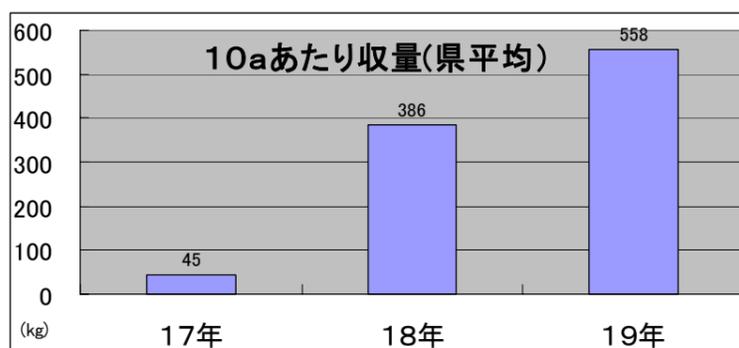
	県(行政)	研究	普及	全農	JA
品種の選抜・固定		◎	△	△	
基本的特性の把握		◎	△		
耐病性品種の育成		◎	△		
栽培条件と品質・収量		◎	○		
現地実証圃の設置	○	○	◎	○	○
各種栽培資料の作成	○	△	◎	△	△
研修会の開催	◎	△	◎	○	○
生産者の掘り起こし	○		◎	△	◎
販売戦略の構築	◎		◎	◎	◎
出荷情報の提供	○		◎	◎	◎
消費・販売促進活動	△		△	◎	○

取り組み



個別事例(集落営農)

	A集落	B集落	C集落
栽培面積	28a	5a	31a
出荷量/10a	645kg	1100kg	1185kg
定植以降の管理	機械	手作業	個別
定植までの管理	共同	共同	共同
収穫作業	共同	共同	個別
労働時間/10a	241h	490h	不明
収穫時間/10a	166h	268h	不明
労働報酬/h	550円	499円	不明



あすっこ生産ガイド(GAP)



1. 安全・安心なあすっこを消費者に届けよう。
2. 記録をつけて、作業改善につなげコスト低減や健康管理につなげよう。
3. 消費者から愛される野菜・産地にしよう。

